



アプリで簡単操作

スマホアプリの「SENA Motor cycle APP」を使えば、スマホの画面を使って、インカムのほとんどの操作が可能。特に接続相手の選択やグループ作成といった場面では、画面を見ながら操作できるメリットが大きい

特徴

保証期間

保証期間3年！ 日本技術者が対応

セナのフラッグシップの一台に位置づけられる SRL3。プレミアムなインターコムとして、製品の保証期間が3年となっている。一般的な家電製品などの保証期間が1年なのに対して SRL3の3年というのは、品質の高さの裏付けがあってこそだといえる。また、正規セナ・インターコム製品であれば、日本の正規代理店の技術者が対応にあたっていて、保証期間のいかんにかかわらず、スムーズな対応が受けられる。またインカムの取り付けや使い方については、わかりやすい日本語の動画コンテンツも用意されている。

FMチューナー付き

SRL3にはFMチューナーを搭載。スマホでいつも聞く音楽に飽きたら、ツーリング先の地元のFMラジオを聞くのも楽しい。10の周波数をメモリーすることができるため、よく聞く放送局を登録しておけば、素早く呼び出して聞くことが可能だ

ハーマンカードンの高音質

近年、セナは世界的な高級オーディオブランド「ハーマンカードン」と提携していて、SRL3を含むフラッグシップモデルのクエンタムシリーズには、高音質のスピーカーやマイクを採用している



MESH3.0、新世代の通信体験

最新のグループインターコム「セナ・メッシュ 3.0」テクノロジーを採用。お互いを網目状に接続することで通信が切れにくいメッシュ・システムが第3世代に進化し、より途切れにくく、そして相手の声がよく聞こえるような高音質を実現している

特徴

ボイスコマンド機能

本体操作必要なし！ ボイスコマンドで操作

SRL3の操作はヘルメットの左側、帽体の縁に取り付けた「+」「-」と決定の3つのボタンで行う。さらに、声でインカムのほとんどの操作ができる「ボイスコマンド」機能を搭載。日本語にも対応しており、自然な口調でマイクに向かって話しかけるだけで、SRL3が反応してくれる。音

量の増減や音楽の頭出し、FMラジオの選局といったインカムの操作に加えて、スマホの音声アシスト機能呼び出すこともできる。SRL3はビルドインインカムとして佇まいのスマートさに加えて、インカムのスイッチに触れることなく操作ができるというスマートさを備えている。

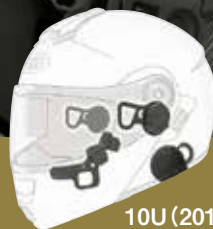
SHOEI専用設計！

SRL3の魅力 徹底解説！

見えないインカム！
最新MESH3.0搭載！

バイク用インターコムのほとんどがヘルメットのフチに取り付けるスタイル。それに対してヘルメットの中に取り付けられるのが、“ビルドイン”スタイルのインカムだ。セナのSHOEI専用モデル「SRL3」は、そんなビルドインインカムの最新モデル。まるでインカムを付けていないような佇まいながら、プレミアムクラスの実力を秘めている

文：八百山ゆーすけ
問：セナブルトゥースジャパン <https://senablutooth.jp>



10U (2015年)

SENAの試みインカムの “ビルドイン化”は10年前から 始まった

いち早くビルドインインカムを手がけたセナ。2015年にSHOEIとアライの特定のヘルメット用として「10U」を発売。当時の10シリーズをベースに、SHOEIの3モデルとアライのフルフェイスヘルメットの中に仕込むモデルとしてリリースされた

特徴

ビルドインインカム

あるのに、ない！ ヘルメットとの一体感

インカムをヘルメットの内部に取り付ける形で、外からはほとんどインカムが見えず、スマートな佇まいを実現するのがビルドインインカム。インカム本体は基板やバッテリーなどを収めたメインユニット、アンテナ、操作スイッチ、スピーカー、マイクといった要素すべてが帽体内部

に取り付けられる。帽体の外にほぼ何もなため、空気抵抗や風切音が抑えられるほか、頭を動かしたときの重心が崩れないといったメリットがある。下の写真にあるSHOEIの3モデルはSRL3を取り付けるためのスペースや装着部が設けられていて、スムーズに取り付けができる。

対応ヘルメット



GT-Air3



NEOTEC3



J-Cruise3

SRL3

価格：5万6980円

通話時間：Bluetoothインターコム：最大8時間
Meshインターコム：最大8時間
サイズ(メインモジュール)：82mm×39mm×33mm

「ッシュオン！」のように話しかけるだけで、希望の操作ができる。セナのボイスコマンド機能は年々進化しており、音声の認識能力が上がっている。外部音が大きくなってより操作しやすくなっているのも、より直感的にSRL3を操ることだって可能だ。また専用スマホアプリを使うことで、声に加えてSRL3の状態を確認しながら操作ができる。

ほとんど存在感がないSRL3だが、その機能や性能はセナのプレミアムモデルである「クエンタムシリーズ」と変わらない。インカム通話システムは、接続が切れにくい信頼性や、お互いの声が聞きやすい音質を高めた、最新の「セナ・メッシュ3.0」を採用。また、マイクやスピーカー、サウンドチューニングといったサウンドを、高音質で定評のある「ハーマンカードン」が手掛けている。

また、セナのプレミアムモデルとして、メーカーとしての製品保証は3年間と長い期間とされているのも嬉しい。この期間は製品のクオリティの高さの証だともいえる。今やインカムはマストアイテムといっても過言ではなく、ライダーの個性を表現するもののひとつ。それをあえて隠すというのは、オトナなライダーのスタイルではないだろうか。

あえて高性能を隠して使うオトナのインカムのカタチ

セナの「SRL3」は、SHOEIの「GT-Air3」「NEOTEC3」「J-Cruise3」という3モデルに対応した「ビルドイン」スタイルのインターコムだ。インターコムの回路基板やバッテリー、スイッチといったパーツを分散する形でヘルメットの各部に装着することで、ヘルメットの外から見ると、インターコムを付けていることがほとんど分からないという、スタイリッシュな佇まいが最大の特徴となっている。

SRL3に対応したSHOEIの3つのヘルメットの内装には、SRL3の各パーツやケーブルのサイズに合わせた凹みやミゾが設けられている。取り付けはそこにSRL3のパーツをはめ込むだけ。とても簡単でスマート。特にSRL3は、帽体左側の縁に取り付けるスイッチユニットがとてもスリムなのが特徴。帽体からの出っ張りや極めて小さく、極めて存在感を抑えた佇まいとなっているのが魅力だ。

ここまでスリムさを追求したSRL3だが、ボタンの操作性は必要にして十分。なによりSRL3はボイスコマンド機能を搭載していて、「ヘイセナ！」に続いて「メ